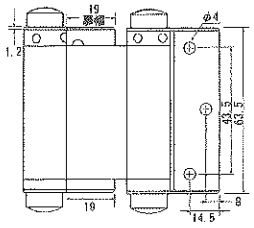
# 自由蝶番

## 両開用適用扉

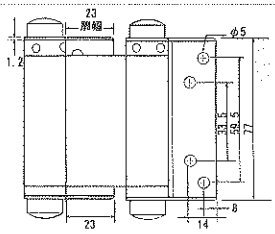
### 64 m/m

2枚吊り
耐荷重重量：5 kgS
ビスサイズ：3.5 x 22



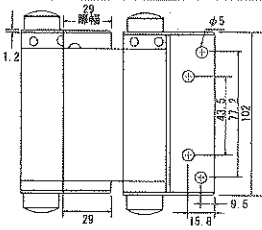

### 76 m/m

2枚吊り
耐荷重重量：7 kgS
ビスサイズ：3.5 x 22



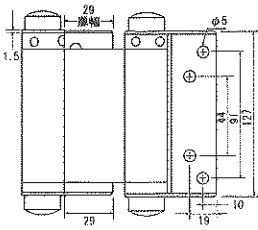

### 102 m/m

2枚吊り
耐荷重重量：10 kgS
ビスサイズ：3.5 x 22



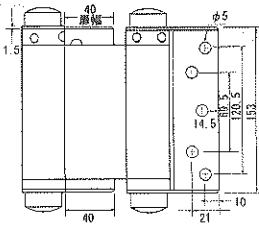

### 127 m/m

2枚吊り
耐荷重重量：13 kgS
ビスサイズ：3.8 x 25




### 153 m/m

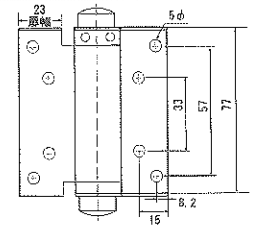
2枚吊り
耐荷重重量：15 kgS
ビスサイズ：3.8 x 25




## 片開用適用扉

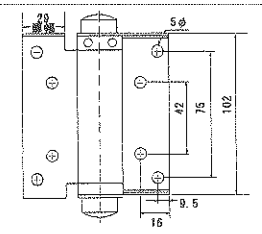
### 76 m/m

2枚吊り
耐荷重重量：7 kgS
ビスサイズ：3.5 x 22



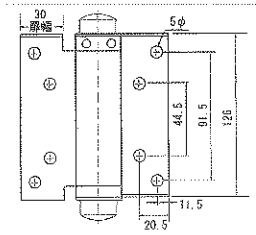

### 102 m/m

2枚吊り
耐荷重重量：10 kgS
ビスサイズ：3.5 x 22




### 127 m/m

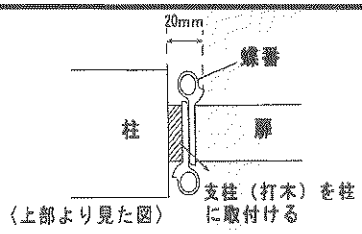
2枚吊り
耐荷重重量：16 kgS
ビスサイズ：3.8 x 25



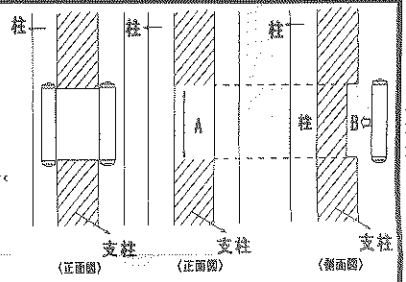

## ● 自由蝶番取付方法

**1** 耐荷重量の表示は、通常の開閉で使用する場合の数値です。自由蝶番の特徴であるバネ等の複合品の為、特に必要外の荷重をかけたり、強い衝撃を与えると破損する場合があります。

**2** 両開用の蝶番の取付の場合には、必ず高さが20mm位で幅が扉幅と同じ位の支柱（補助板）を柱に取付けることが必要です。

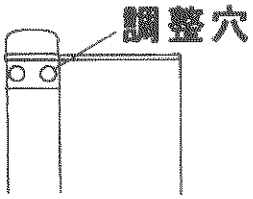



**3** 取付が終わった支柱に蝶番の羽根の高さ(A)と蝶番の羽根の厚み(B)を支柱に掘込んで下さい。

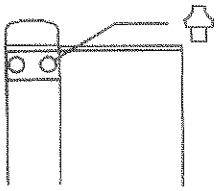



蝶番の羽根の部分を支柱に掘込まずに取付ける方法もあります。

**4** 掘込みの終わった溝に蝶番を取付ける際、調節穴を上にして取付けてください。




**5** 扉を支柱に取付けが終わると調整棒で扉の適当な開閉スピードをさがして調整ピン( ⬡ )を上下両方の蝶番の調節穴に差し込んでください。



**6** 調整ピンはバネが十分に働く位置で止めて下さい。バネが効いていないと蝶番が垂れ下がります。

## ご注意

※ ステンレス製品にも構成パーツの一部（バネ・調整ピン等）の材質に鉄を使用しております。ステンレス製、鉄製共、屋外等腐食の起こりやすい環境下では使用しないでください。

※ 自由蝶番は、構成部品が多く、複雑な動作をするデリケートな製品（溶接部分やバネの使用等）ですので、上記取付重量を守り、通常開閉以上の負担をかけないでください。